

平成 26 年度事務事業評価調書

事業コード 03030103	区 分	<input type="checkbox"/> 実行	<input checked="" type="checkbox"/> 経常
事務事業名 郷土資料館運営事業	担当部署名	教育課	
	作成責任者職氏名	課長 中野光二	内線 650
第4次総合計画体系	(基本柱)	(基本施策)	(細施策)
	03教育・歴史・伝統	03歴史的・文化的遺産の保全・活用	01文化財の調査・保護・活用
実施期間	<input type="checkbox"/> 単年 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 (H25年度～H27年度)		実施方法 <input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管
根拠法令等	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	法令等の名称 千早赤阪村立郷土資料館設置条例・施行規則	義務付け <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無

I 事務事業の概要<Plan>

<p>(1)事務事業の目的及び内容</p> <p>①目的 郷土を中心とした歴史・考古・民俗等に関する資料を収集・保管・展示して、住民(もちろん広くは国民)の文化的向上に資するため</p> <p>②内容 村立郷土資料館の管理・運営</p>	<p>(2)対象(誰を対象とするのか) 住民・村外からの来館者</p>
<p>(3)期待される効果(本事業によって対象者をどのような状態にしたいのか) 上記目的の達成</p>	<p>(4)事務事業を進める上での課題や問題 ・施設の老朽化による修繕等の増加が予想される ・身体障害者への対応が不十分(この時世にあって、広く来館者を募る施設が身障対応できていないのは行政として大きな問題である) ・指定管理者の専門性等の問題</p>

II 事務事業の実施<Do>

(1)事務事業の事業費及びコスト費								
	24 年度 実績	25 年度		26 年度 事業費(見込)	27 年度 事業費(見込)			
		事業費(予算)	実績(見込)					
事業費(見込含む)(千円)(A)	4,521	4,136	4,462	4,323	4,136			
財 源 内 訳	国庫支出金							
	府支出金							
	分担金・負担金							
	使用料・手数料							
	起債							
	その他の特財							
一般財源	4,521	4,136	4,462	4,323	4,136			
人 件 費	一般職員所要人員(人)(B)	0.10	0.10	0.10	0.10			
	一般職員人件費(平均給与×(B))(千円)(C)	555	589	589	589			
総コスト費(千円)(A+C)	5,076	4,725	5,051	4,912	4,725			
人口あたりコスト(円)	838	780	833	811	780			
(2)成果指標等								
番号	指標区分	指標名称	単位	25 年度			26 年度 目標値	27 年度 目標値
				目標値	実績値	達成率(%)		
①	目標指標	入館者数	人	4000	3722	93%	4000	4000
②	目標指標							
③	目標指標							

○目標指標評価値(達成率平均値) 93% / 1 = 93% (A)

(1/2)

Ⅲ 事務事業の評価<Check>

(1)成果の自己検証			
評価項目	評価結果		評価の理由及びその考え方
①妥当性 ※施策の目的が村の政策体系に貢献しているか	3	4. 大いに貢献している 3. 概ね貢献している 2. あまり貢献していない 1. 貢献していない	第4次総合計画に記載のある歴史観光拠点の1つとなっている。
②有効性 ※期待された効果が得られているか	3	4. 効果がある 3. 一応の効果がある 2. あまり効果がない 1. 効果がない	第4次総合計画に記載のある歴史観光拠点の1つとなっている。
③効率性 ※効率的に進められているか	3	4. 非常に効率は良い 3. 概ね効率は良い 2. あまり効率は良くない 1. 効率は良くない	経験のある指定管理者により管理されているため、概ね効率はよい。
④公平性 ※受益や負担が公平になっているか	2	4. 公平である 3. 概ね公平である 2. 少し偏りがある 1. 公平ではない	村予算を用いて展示等の専門的学芸業務を行っているが、入館料はすべて指定管理者の収入になっている。
○事務事業評価値 (①～④の合計/16)	11	16	69% (B)

目標指標評価値 (A)	事務事業評価値 (B)	総合評価値 (A)+(B)/2	評価ランク(改善の目安)
93%	69%	81%	C
a: 90%以上(現状維持又は拡充) d: 30~49%(休止・廃止又は縮小) b: 70~89%(見直し又は現状維持) e: 30%未満(休止・廃止) c: 50~69%(縮小又は見直し改善)			

Ⅳ 事務事業改善の方向性<Action>

(1)改善の方向性	
①改善の方向性(自己評価)	B ← A: 拡充 B: 現状維持 C: 見直し D: 縮小 E: 休止・廃止
②改善の方向性の理由、改善する上での具体的な改善策や課題等	
郷土を中心とした歴史・考古・民俗等に関する資料を収集・保管・展示し、住民(もちろん広くは国民)の文化的向上に資するため引き続き実施する。ただし、身体障害者への対応や指定管理者の専門性等の問題など検討すべき課題がある。	

Ⅴ 事務事業評価結果(担当者は記入しないでください。)

(1)政策担当結果	
郷土を中心とした歴史・考古・民俗等に関する資料を収集・保管・展示し、住民の文化的向上、郷土愛の育成に資するため、引き続き実施する必要があると考える。また、資料館の運営に関する知識や資料の専門性等、指定管理者の見直しや検討が必要であると考えます。	B A: 拡充 B: 現状維持 C: 見直し D: 縮小 E: 休止・廃止
(2)第三者による有識者会議結果	
	B A: 拡充 B: 現状維持 C: 見直し D: 縮小 E: 休止・廃止
(3)行政経営戦略会議結果	
郷土を中心とした歴史・考古・民俗等に関する資料を収集・保管・展示し、住民の文化的向上、郷土愛の育成に資するため、引き続き実施する必要があると考える。また、資料館の運営に関する知識や資料の専門性等、指定管理者の見直しや検討が必要であると考えます。	B A: 拡充 B: 現状維持 C: 見直し D: 縮小 E: 休止・廃止